

令和5年度

社会教育課



社会教育事業報告

郷土資料館



読書推進課



恵庭市教育委員会

－ 目 次 －

1. 社会教育課

(1) 家庭教育	P. 1
(2) 青少年教育	P. 3
(3) 成人教育	P. 8
(4) 高齢者教育	P. 9
(5) 女性活動支援	P. 1 2
(6) 地域教育	P. 1 3
(7) 文化振興	P. 1 5
(8) 公民館	P. 1 9
(9) かしわのもり	P. 2 1

2. 読書推進課

(1) 読書推進	P. 2 3
----------	--------

3. 郷土資料館

(1) 郷土資料館	P. 3 2
-----------	--------

【社会教育課】

領域：家庭教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	家庭教育支援事業 * 学びカフェ推進事業	4月16日	まちづくりスポット恵み野	81名・大人と子ども (前年度61名・大人と子ども)	家庭教育ナビゲーターが中心となり、子育てや家事など様々な話題で交流を行いながら、緩やかな学びあいの場「はぴナビカフェ あたしん家」を実施し、市内の保護者すべてが学びの機会に触れることができる環境を整備。 ・4月16日「消しゴムはんこ作り」 ・5月18日「つながりサポート女性支援事業『女性による女性のための居場所づくり』」 ・6月16日「フリ子の会(フリーランスな子にフリまわされている(笑)親の会)」 ・7月20日「つながりサポート女性支援事業『女性による女性のための居場所づくり』・けしごむハンコ作りしながらほっとひと息」 ・8月20日「フリ子の会 2日目(フリーランスな子にフリまわされている(笑)親の会)」 ・9月1日「つながりサポート女性支援事業『女性による女性のための居場所づくり』・子育て」 ・9月20日「幼稚園情報交換会」 ・10月10日「フリ子の会 3日目(フリーランスな子にフリまわされている(笑)親の会)」 ・12月16日「フリ子の会 4日目(フリーランスな子にフリまわされている(笑)親の会)」 ・1月26日「つながりサポート女性支援事業『女性による女性のための居場所づくり』」 ・2月21日「フリ子の会 5日目(フリーランスな子にフリまわされている(笑)親の会)」 ・3月4日「つながりサポート女性支援事業『女性による女性のための居場所づくり』子どもと一緒にアンガーマネジメントで自己肯定感を高めよう」	6	[主催] えにわはぴナビネットワーク [支援] 社会教育課 [協力] NPO法人 まちづくりスポット恵み野 NPO法人 おはな
		5月18日	はなふる				
		6月16日	まちづくりスポット恵み野				
		7月20日	はなふる				
		8月20日	まちづくりスポット恵み野				
		9月1日	はなふる				
		9月20日	まちづくりスポット恵み野				
		10月10日	えにあす				
		12月16日	はなふる				
		1月26日	えにあす				
		2月21日	まちづくりスポット恵み野				
		3月4日	えにあす				

	* えにわままっぶ	11月23日	えにあす会議室2、3	60名・大人と子ども	えにわままっぶ実行委員会が中心となり、親子を対象に子育てに役立つ体験や、子どもたちが遊べるスペースを提供。 (家庭教育ナビゲーター養成講座と同日開催) ・絵本読み聞かせサークル「おもちゃばこ」 絵本読み聞かせ、ペープサート、人形劇、紙芝居 ・文教大学ボランティア エブロンシアター ・新聞プール ・あったらいいなの木	36	[共催] えにわままっぶ実行委員会
継続	家庭教育支援者の養成とネットワーク化推進事業 * 家庭教育ナビゲーター養成講座	11月23日	えにあす会議室4	15名	家庭教育ナビゲーターの役割や心構えについて学び、家庭教育に対する興味関心を高め、新たな担い手を育成する。 ・講義：アサーションを中心としたコミュニケーション方法 講師：北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課社会教育指導係 川崎 真也 氏 ・えにわはぴナビネットワーク活動紹介	2	[協力] えにわはぴナビネットワーク
	* 家庭教育ナビゲータースキルアップ講座	2月3日	市民会館(大会議室)	14名	講義や演習により家庭教育ナビゲーターの資質向上を図り、家庭教育支援者ネットワーク化の必要性についての理解を深める。また、情報交流を通じて、家庭教育支援活動等の一層の充実を目指す。 ・講義：アサーションを中心としたコミュニケーション方法 (養成講座の内容を深めたもの) 講師：石狩教育局教育支援課社会教育指導班 佐藤 拓史 氏 ・えにわはぴナビネットワーク活動紹介	10	[協力] えにわはぴナビネットワーク

領域：青少年教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	少年の主張中学校大会	5月23日	柏陽中学校（R5年度中文連事務局校）	市内中学校各1名(5校)	青少年が日常生活の中で体験し考えている事柄を広く発表する機会を設けることで、青少年の自我形成を助長するとともに、あわせて青少年の健全育成に対する市民の理解を深める契機となることを目指します。 表彰：最優秀賞1名、優秀賞4名 最優秀賞 吉田有李さん 恵明中学校3年 「ダメージジーンズに惹かれた私」 ※石狩地区大会 優秀賞	17	[主管] 中学校文化連盟 [審査員] 教育委員会教育長 青少年育成市民の会会長 校長会会長 教育研究協議会会長 中学校文化連盟会長
継続	えにわっ子ジュニアセミナー2023		国立日高青少年自然の家 ※野外炊飯活動等の研修活動ができる設備が整っている施設を使用。		市内小学生が、レクリエーション活動、野外活動、ボランティア活動など、地域の子どもたちのリーダーとしての役割を担うため、必要な知識や技能、社会性を異年齢との交流、宿泊体験、集団行動を通じて学びます。 シニアリーダー「つくしの会」が中心となり、野外活動や、話し合いの手法など、遊びを交えながら互いに研鑽します。野外炊飯やその他自然環境、集団生活活動、様々な育成活動に適した日高青少年自然の家を活用しています。	422	[共催] 恵子連
	* 前期	8月11日 ～13日		市内小学5年生～中学1年生 21名(前年度27名)	※スタッフ 市教委2名、恵子連8名（内、つくしの会4名）、講師1名		
	* 後期	2月23日 ～25日		市内小学5年生～中学1年生 27名(前年度21名)	※スタッフ 市教委1名、恵子連13名（内、つくしの会8名）		
継続	2024年恵庭市はたちのつどい (旧成人式)	1月7日	市民会館大ホール	522名 (前年度487名)	式典を通して、成人としての自覚を持っていただくとともに、ふるさと「恵庭」への愛着を一層高めることを目的として実施。 ・アトラクション（恵庭紅鴉） ・式典 ※実行委員企画（ビデオメッセージを頂いた恩師へ、参加者からのメッセージを集め、取りまとめて送付） ※はたちの広場（感染症対策のため中止）	830	対象者：法改正後も20歳の市民を対象。 平成15年4月2日～ 平成16年4月1日生まれの方

継続	青少年表彰事業	9月11日 9月27日 (審査日)		青少年団体活動者賞(団体) 2団体 ※青少年善行者賞、青少年団体活動者賞(個人)、優良勤労青少年賞 申請なし	恵庭市の青少年健全育成に貢献された方々を顕彰。文化功労者・スポーツ功労者表彰と合同で実施。 ◆ 青少年団体活動者賞(団体) ・北海道恵庭北高等学校女子バスケットボール部 ・北海道文教大学チャレンジド教室	117	
継続	青少年育成事業 * 青少年育成事業補助金	通年			青少年・文化振興基金を運用し、各種補助金の交付を行う。 ■ 青少年の健全育成に関わる各種事業に対し、審査委員会で審議のうえ、補助金を交付する。 ■ 交付事業(7月19日審査決定) ・夢道教室2023((一社)恵庭青年会議所) ■ 交付事業(1月31日審査決定) ・スウェーデン・ルシアを迎える会 (スウェーデン・ルシアを迎える会実行委員会) ・北海道歴史舞台 絆花 ～中山久蔵翁物語～ ((一社)未来工房)	200	
	* 青少年国際交流派遣事業 補助金	通年			■ ニュージーランド・ティマル市との姉妹都市交流の一環事業として青少年の相互派遣事業に補助金を交付する。 ■ 補助金交付団体 青少年国際交流委員会 ■ 派遣者: 3名(恵庭北高等学校1名、北海道文教大学附属高等学校1名、恵北中学校1名) 派遣期間: 令和6年3月9日～3月29日	400	
継続	子ども会育成連合会支援事業 (恵庭市子ども会育成連合会 運営費補助金)	通年			■ 各町内会育成部(子ども会)の連合組織である子ども会育成連合会の活動を育成支援することで、青少年健全育成を推進する。 ・啓発、研修活動 ・えにわっ子ジュニアセミナー(共催事業)	588	令和5年度の役員改選により、小山会長が退任し、宮会長が就任。

継続	青少年育成市民の会支援事業 (恵庭市青少年育成市民の会 運営費補助金)	通年			■青少年健全育成に係る啓発事業、並びに青少年国際交流事業の推進に係る活動を支援する。 ●夏の青少年健全育成強調月間関係(7月) ・知事メッセージを社明運動セレモニーにて市長へ伝達(7/1) ・道青少年健全育成条例に基づく立入調査(7月6日) ●秋の青少年健全育成強調月間関係(11月) ・強調月間周知ポスターの作成・掲示 ・道青少年健全育成条例に基づく立入調査(11月21日) ・恵庭市青少年育成市民のつどい(11月18日) 市民に対し、青少年団体等の活動発表等を通して、青少年の健全育成への理解を深め、青少年活動の一層の推進を呼びかける機会とする。 【活動発表団体】 ①北海道恵庭南高等学校 新体操部 ②恵庭少年少女合唱団育成会 ③恵庭民謡連合会 ④優至会 酒井道場 ●国際交流派遣事業(ニュージーランド・ティマル市) ・派遣者：3名(恵庭北高等学校1名、北海道文教大学附属高等学校1名、恵北中学校1名) ・派遣期間：令和6年3月9日～3月29日 ・募金活動の実施：4回	79	令和5年度の役員改選により、一ノ瀬会長が退任し、三上会長が就任。
----	---	----	--	--	--	----	----------------------------------

領域：青少年教育（「恵庭子ども塾」関連）

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	おもしろ理科実験教室	6月10日	恵庭市民会館大会議室	午前子ども26名・小学2～6年生 午後子ども26名・小学2～6年生 (前年度102名)	理科実験を通じて科学に親しみ、「不思議」を子どもが体験することで、探求心や学習意欲を高める。 小学2～6年生対象 ①バスボム(入浴剤)づくり ②スライムづくり ③おたのしみ実験(LEDを使った光通信の模擬実験・偏光フィルムを使用した演示作品の紹介)	42	[協力] 千歳科学技術大学理工工房
新規	親子で学ぶ！こども航空教室	6月17日	恵庭市民会館大会議室	子ども27名・小学1～3年生 保護者20名 合計47名	全国公民館連合会と明治安田生命保険相互会社との共同事業「地元『公民館』元気プロジェクト」（北海道公民館協会推薦）における「親子で学ぶ！こども教室（JAL支援）」を活用し、子どもたちが将来の仕事について考えるきっかけの場をつくる。 テーマ「見て、聞いて、知る！ 飛行機の仕組みと空港を支える仕事を知ろう！」	8	[共催] 明治安田生命 日本航空
継続	おいしいお茶をいれてみよう！ ～お茶を学ぶワークショップ～	8月19日	恵庭市民会館大会議室	子ども16名・小学3～6年生 (前年度子ども29名・小学2～6年生)	子どもがあまり触れることが少ない、お茶について、お茶の産地である藤枝市の藤枝茶楽研究部会の中・高校生と、恵庭市内の幼稚園で茶道体験も行っている美しいまちづくり恵庭ネットワークから、栽培方法や効能生態、お茶のいれ方、味わいを学ぶことで、日本人になじみ深いお茶について理解を深める。 ①藤枝茶講座(講師：藤枝茶楽研究部) ・ 藤枝のお茶の説明、一煎目～三煎目の淹れ方説明・実践 ②抹茶体験(美しいまちづくり恵庭ネットワーク) ・ 抹茶の説明、茶道体験	21	[協力] 静岡県藤枝市藤枝茶楽研究部 美しいまちづくりネットワーク

継続	えにわ大好き！食の体験ランド	9月30日	北海道文教大学 しみずファーム	子ども23名・小学4～6年生 (前年度子ども17名)	テーマ食材を決め、畑での収穫体験や大学での調理体験、ワークショップを行い、生産者と消費者の繋がりや、地産地消について学習し、食についての理解を深める。 テーマ食材：さつまいも、ハロウィンかぼちゃ ①北海道文教大生による食育クイズ、ワークショップ ②調理体験 ③ルーキーズカンパニーによる農場体験 (さつまいも・ハロウィンかぼちゃ収穫、 農業機械による収穫を見学)	43	[共催] 北海道文教大学 ルーキーズカンパニー
継続	Enjoy English ♪	3月26日	恵庭市民会館大会議室	子ども36名・小学新3～6年生	レクリエーションを通じて英語に親しみ、子ども達の今後の英語学習に対する興味関心を育む。 外国人とのコミュニケーション方法を学び、異文化交流及び異文化への理解を促すきっかけとする。 ①ALT自己紹介 ②AorBゲーム ③「Do you have～？」 ④ジェスチャーゲーム ⑤市内在住外国人の紹介	5	

領域：成人教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	えにわ学講座				内容：恵庭の歴史や魅力などを総合的に学ぶ。	60	※長寿大学生徒が参加した場合は単位として認定。
	* 前期	9月30日	恵庭市内（視察）	29名 (前年度17名)	テーマ：『恵庭を再発見～記念碑・野外彫刻から』 講 師：農学博士、恵庭市文化財保護委員会委員 土屋 武彦 氏 コース：開拓記念公園→中恵庭出張所→恵庭神社遙拝所・ イザリブト番屋→総合体育館→恵庭駅→ユカンボシ 川河畔公園		
	* 後期	3月21日	市民会館（中ホール）	23名 (前年度16名)	テーマ：『中山久蔵が語る開墾の軌跡』 ～島松沢・旧駅通所から～ 講 師：中山久蔵を顕彰する会事務局長 村井 明 氏		

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	長寿大学(大学・大学院) 4～9月(前期分) ※年間20回				高齢社会にふさわしい学習の機会を拡充し、高齢者が生きがいを見つけ、社会活動に参加し、健康で楽しい生活ができることを目指します。H14年度より大学院を設置。R5年度は、新入生33名・大学院生17名が加わり、学生総数114名(男31名・女83名)により学習を開始した。	708	
		4月12日	中ホール	102名	■入学式及び自治会総会 (今年度学生総数 114名で始業 ※内新入生33名、大学院進級生17名)		
		4月26日	中ホール、大会議室	83名	■学年別研修(※学年別ホームルーム) 各学年ごとの交流を深めながら、学年内行事等について話し合った。1年生については、大学事務局が進行を担当し、代表幹事の選出に係わっては、自治会事務局も同席した。そのほかの学年は各学年幹事が担当。		
		5月17日	中ホール	98名 ※オープンカレッジ 5名	全体学習(※市民オープンカレッジ)「認知症予防のために～野菜ソムリエによる野菜と健康講座～」 講師 蔵崎美佳氏(北海道ハイテクノロジー専門学校)		※全体学習を「市民オープンカレッジ」として一般市民に周知
		5月31日	中ホール、大会議室	91名	①一般教養「気軽に登山を楽しむ方法」 講師 荒田康仁氏(TREE LIFE guido & rescue) ②まちづくり「Do-HUG避難所運営訓練」 講師 谷口和三氏(市総務部)		
		6月14日	中ホール、大会議室	92名	①一般教養「食農ライフ～家庭菜園・市民農園で楽しもう～」 講師 木佐和美氏(恵庭市民農園協会) オブザーバー 中野雅章氏(恵庭市民農園協会) ②まちづくり「恵庭公式アプリ『えにわか』を知る～除雪・ゴミ・防災情報～」 講師 川尻智之氏(市企画課)		
		6月21日	市外施設見学	36名	■前期研修旅行 (三笠市立博物館、新桂沢ダム)		
		6月29日	中ホール、大会議室、 恵庭市立図書館	90名	①一般教養「"相続"と"争族"のはなし」【連続講座】 講師 篠原隆仁氏(明治安田生命) ②高齢生活「在宅医療と介護①」【連続講座】 講師 甲斐昌恵氏、臼杵愛美氏(連携センター りんく) ③まちづくり「図書館サービスの紹介と実践」 講師 神百合愛氏、山田遥希氏(恵庭市立図書館)		

		7月11日	大会議室、はなふる	83名	①生活文化「ICT化が進んだ未来社会を探る」 講師 由水伸 氏（星槎道都大学） ②まちづくり「花の拠点（はなふる）散策」 講師 佐々木勇希 氏（市花と緑・観光課）		
		7月27日	中ホール、大会議室、 恵庭市立図書館	79名	①一般教養「最適な「MYライフ&エンディング」を考えよう」 【連続講座】 講師 松野由季子 氏（明治安田生命） ②高齢生活「在宅医療と介護～人生会議～」【連続講座】 講師 樋口秋緒 氏（恵み野訪問看護ステーション「はあと」） ③まちづくり「図書館サービスの紹介と実践」 講師 神百合愛 氏（恵庭市立図書館）		
		9月6日	中ホール、大会議室	90名	■学年別研修（※学年別ホームルーム） 各学年ごとの交流を深めながら、9月以降の学習プログラムの確認や各種変更事項等について説明を行った。		
		9月20日	中ホール	91名 ※オープンカレッジ 21名	■全体学習（市民オープンカレッジ）「中国の楽器『二胡』とピアノの二重奏」 講師 村元絵美 氏、森敦志 氏（演奏家）		
		10月11日	中ホール、大会議室	88名	①高齢生活「100歳年歩ける足づくり」 講師 杉田恵子 氏（㈱C-LABO） ②まちづくり「秋の庭の管理と植栽体験」 講師 竹内利樹 氏（市経済部花と緑・観光課）		※恵庭市介護予防講演会を兼ねる（市介護福祉課）
		10月18日	市外施設見学	44名	■後期研修旅行 （三笠市立博物館、新桂沢ダム）		
		10月25日	中ホール、大会議室	90名	①高齢生活「慢性腎臓病（CKD）の予防と治療～大切な腎臓を守るためには～」 講師 西尾妙織 氏（北海道大学病院） ②一般教養「チーズを知り チーズに親しむ」 講師 馬場由紀子 氏（㈱明治）		※恵庭市健康づくり講演会を兼ねる（市保健課）
		11月15日	中ホール	90名 ※オープンカレッジ 5名	■全体学習 「痛みは病気のサイン～帯状疱疹後神経痛にならないために～」 講師 進藤ゆかり 氏（日本医療大学）		※全体学習を「市民オープンカレッジ」として一般市民に周知
		12月6日	中ホール	89名 ※オープンカレッジ 3名	■全体学習 「認知症の病気の理解と看護（対処方法を含む）」 講師 辻幸美 氏（北海道文教大学）		※全体学習を「市民オープンカレッジ」として一般市民に周知

		12月20日	中ホール	79名 ※オープンカレッジ 5名	■全体学習 「源氏物語～光の永遠の女性『藤壺』の生き方～」 講師 田中幹子 氏（札幌大学）		※全体学習を「市民オープンカレッジ」として一般市民に周知
		1月24日	中ホール、大会議室	84名	①生活文化「ドイツ人の人生計画」 講師 ペーター・シティーガー 氏（Petair合同会社） ②高齢生活「手話を通して聴覚障害者への理解を深める」 講師 佐藤義典 氏（千歳市聴覚障害者協会・市障がい福祉課）		
		2月14日	中ホール、大会議室	93名	①自主学習「自彊術」 講師 永井康子 氏（大学院2年生） ②自主学習「趣味と旅」 講師 合田優 氏・芦野昭雄 氏（大学院2年生） ③一般教養「中国の大学生に教えて及び日常生活から得たこと」 講師 高橋清隆 氏（長寿大学OB）		
		3月6日	中ホール、大会議室	94名	■学年別研修（※学年別ホームルーム） 令和6年度講座の履修希望の確認、新年度オリエンテーション、卒業式・修了式について説明を行った。		
		3月15日	中ホール	大学4年生（対象：24名） 大学院2年生（対象：17名）	■行事 卒業式・修了式 コロナ禍のため該当学年に限定して実施した。		来年度は終了式の意も含め、全学生を対象に実施予定。

領域：女性活動支援

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	女性団体活動者研修会	7月25日	市民会館大会議室	26人 (前年度 19人)	■趣旨：明るく健やかな地域社会の確立において、女性の果たす役割は大きく、必要不可欠となっていることから、地域における女性活動の活発化を図るため、広い視野での情報・知識習得の機会を提供する。 テーマ：暑い夏を爽やかに ～アロマの香りとハーブで彩る簡単手ごね せっけんで気分もリフレッシュ～ 講師：douceur+n* 鈴木 亜季子 氏 内容：精油による美肌効果や感染予防などの効能を学ぶほか、手ごねせっけん作り。	39	[共催] 恵庭市地域女性連絡会
継続	女性人材育成セミナー	3月23日	市民会館中会議室	22人 (前年度16人)	■趣旨：地域で様々な活動に関わる特に女性の方に、より充実した活動を進めていただけるよう広い視野での情報や知識、技術を提供し、育成及び支援を図ることを目的とする。 テーマ：～日常のイライラをコントロールして心地よい生活を～ 「女性のためのアンガーマネジメント」 講師：さっぽろ子育てネットワーク代表、 北海道公民館協会理事 河野 和枝 氏 内容：「怒り」の上手な表現法や女性特有の対処法の知識を身に着ける。	37	
継続	恵庭市地域女性連絡会支援事業 (恵庭市地域女性連絡会運営費補助金)	通年			■女性団体の自主的活動を助長し、女性の地位向上に寄与するとともに、連携を深め家庭・地域における女性問題の課題解決に向けた取り組みを支援することで、女性活動の推進強化を図る。	48	

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	小学生を対象とした体験事業 (わこまるクラブ)	通年	和光小学校	市内小学校2～6年生	金曜日の午後や休日、長期休業等を利用し、小学生を主な対象とした体験事業を年10回程度開催。多様な体験を通して、大人も子どもも互いに学び合う。 体験学習「びかまる」	0	*まちづくりチャレンジ協働事業 [協働] わこまるクラブ
	*わこまる・ロック	5月20日	北海道文教大学体育館	15名	様々なスポーツの要素を取り入れた障害物リレーを行った。		
	*農業体験①	7月8日	和光小学校	9名	和光小学校の畑にて畝づくりや種植えを行った。		
	*農業体験②	9月9日		11名	農業体験①の時に植えた野菜の収穫と簡単な調理を行った。		
	*びかまるミニ算数マジック (2年生)	9月15日		21名	算数の知識を活用した体験活動を行った。		
	*ダンスコンサート	10月21・22	北海道文教大学 鶴岡記念講堂	3名	1日目に児童と学生で創作ダンスを考え、2日目に保護者や地域の方に向けて発表を行った。		
	*格付けチェック	1月20日	北海道文教大学8号館	18名・恵庭小学校4～6年生	TV番組「芸能人格付けチェック」を模して、五感を使ってクイズに挑戦していく活動を行った。		
	*お楽しみ会	2月17日	北海道文教大学体育館	15名	今年度の活動を通して参加してもらった児童に対し、わこまるクラブで行いたい活動のアンケートを取り、その結果をもとに雪だるまづくり、ドッジボール、豚汁を食べる活動を行った。		
	*ピタゴラスイッチ	3月3日	北海道文教大学 鶴岡記念講堂	18名	4つのグループに分かれ、廃材を用いてピタゴラ装置を作成し、最終的にそれらすべての装置につなげ、巨大なピタゴラ装置を作成する。		
継続	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第1回）	6月14日	恵庭市民会館(中ホール)	学校関係者や地域の方々 57名 (前年度79名)	平成29年度から令和3年度までの5ヵ年にて、全小中学校へ学校運営協議会を設置。地域住民や保護者が学校と足並みを揃え、一体となって子どもたちの成長に関わっていく体制づくりに向け、「～恵庭市の学校・地域をつなぐ～コミスクかふえ！」を開催。学校運営に保護者や地域住民が参画することで、子どもや学校、地域が抱える課題の解決を図る。 ①講演：なぜ、今コミュニティ・スクールなのか？ 講師：帯広市学校支援アドバイザー 保前 明美 氏 ②グループトーク	48	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちづくり 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会

	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第2回）	7月4日	恵庭市民会館(中ホール)	学校関係者や地域の方々 36名 (前年度50名)	「コミスクの課題を解決する方法を話し合おう」 第1回目の保前明美氏の講演を受け、3つのテーマに分かれてワークショップを行います。 ・ テーマ 1.地域コーディネーターを考えよう！ 2.動く組織のつくりかたを考えよう！ 3.仲間を増やすイベントを考えよう！	14	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちすた 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会
	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第3回）	10月3日	恵庭市民会館(大会議室)	学校関係者や地域の方々23名 (前年度47名)	「コミスクの実践紹介からこれからの活動を話し合おう」 第2回アンケートにて要望の多かった、市内の実践例紹介について、積極的な取組を進めている2校の実践例を紹介。その後、各CSごとにグルーブトークの場を設けた。 1. 実践例紹介 ・ 恵庭小学校(恵小コミスク協力隊) ・ 恵み野小学校(恵み野小学校コミュニティ・スクールふるさとふれあい部会) 2. グルーブトーク	7	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちすた 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会
	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第4回）	2月8日	恵庭市民会館(大会議室)	学校関係者や地域の方々57名 (前年度46名)	「コミスクの実践紹介からこれからの活動を話し合おう」 第3回アンケートにて、市内中学校の実践を知りたいといった声があったことから、「若草・柏陽」のCSを紹介。その後、各CSごとにグルーブトークの場を設けた。 1. 実践例紹介 ・ 若草小学校(主幹教諭) ・ 柏陽中学校(主幹教諭) 2. グルーブトーク	10	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちすた 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会
継続	恵庭地区通学合宿	7月28～30日	恵庭小学校	18名・恵庭小学校4～6年生	○家庭をはなれ集団生活を送る中で様々な生活体験活動を中心に地域の大人との顔の見える交流を深めると同時に異学年の友達と交わることによって、自立心・協調性・問題を解決する力・がまんする力を養うきっかけづくりとする。 ○地域の大人で通学合宿を通して同じ学校区の大人同士の交流を図りながら「地域の子どもは、地域の大人が育む」という意識の広がりを進める。 ○地域の組織・団体・個人が繋がり、多様な課題を解決できる地域を目指す。	0	[主催] 恵庭地区通学合宿実行委員会

領域：文化振興

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	第68回えいわ市民文化祭			総来場者数：2,941人 (前年度総来場者数：3,180人)	文化団体、サークル等が日頃の活動成果を発表し、文化の輪を広げ地域文化発展に資する。	1,465	
	展示部門	10月7～8日	市民会館	523人 ※来場者数 (前回 693人)	文化協会・市民講座・公民館サークル・一般の出展 (30団体 計303人の出展)		
		11月2～3日	島松公民館 (島松公民館まつり)	408人 ※来場者数 (前回 480人)	市民講座・公民館サークル・一般の出展 (8団体 計71人の出展)		
		11月2～3日	夢創館	118人 ※来場者数 (前回 129人)	恵庭美術協会の出展 (1団体 計44人の出展)		
		11月4～5日	花の拠点 (はなふる)	329人 ※来場者数 (前回 777人)	菊花愛好会の出展 (1団体 計6人の出展)		
				展示部門総来場者数：1,378人	総出展者数：40団体 計424人		
	舞台部門	10月21～22日	市民会館	809人 ※来場者数 (前回 570人)	文化協会・市民講座・一般の出演 (31団体 計380人の出演)		
		11月3日	島松公民館 (島松公民館まつり)	754人 ※来場者数 (前回 531人)	文化協会・市民講座・公民館サークル・一般の出演 (16団体 計138人の出演)		
				舞台部門総来場者数：1,563人	総出演者数：47団体 計518人		
継続	文化活動奨励補助金交付事業 (文化活動奨励補助金)	通年			■青少年・文化振興基金を運用し、文化事業の健全な発展に資する対象事業に対し、補助金を交付する。なお、補助交付の申請を受けた事業については、文化活動奨励補助金審査委員会で審査する。 ■交付事業 (8月1日審査) ・夢創館コンサートⅧ (夢創館コンサート実行委員会) ・みんなでアイリッシュコンサート (恵庭ライブミュージック実行委員会) ・OR DOOR 2023 (オアドア制作委員会)	500	事業交付予算限度額50万円
継続	文化事業派遣費補助金	通年			■青少年・文化振興基金を運用し、全国大会等に派遣又は出場する団体や個人に対し、補助金を交付する。 ■交付状況 ・令和5年度 第63回郷土民謡民舞全国大会 (開催地：埼玉県、出場者：澤田 慎仁 氏)	10	事業交付予算限度額10万円
継続	文化功労者表彰事業	9月15日 (審査会)	市民会館第1会議室	文化奨励賞 1人 文化振興賞 3人 計4人 ※文化賞 申請なし	◆文化奨励賞 高崎 幸子 氏 (芸術：美術) ◆文化振興賞 山口 文子 氏 (芸術：詩吟) 山下 達雄 氏 (芸術：書道) 中村 和子 氏 (芸術：バレエ)	86	※文化功労者表彰にかかる費用 (表彰額)

継続	文化功労者・スポーツ功労者 ・青少年表彰式	11月2日	市民会館中ホール	来賓・観覧者数：65人	恵庭市の文化・スポーツ・青少年の向上・発展に貢献された方々を 顕彰する。保健福祉部健康スポーツ課と合同で開催。 ◆文化奨励賞 1個人 ◆文化振興賞 3個人 ◆スポーツ振興賞 2個人 ◆スポーツ賞 6個人 2団体 ◆スポーツ奨励賞 2個人 1団体 ◆青少年団体活動者賞 2団体	482	※表彰式全般にかかる費用 (会場費等) ※総務部総務課と一部費用 を折半
継続	文化団体の育成 (文化芸能・郷土芸能団体)	通年			・文化協会事業費補助金 550,000円 (周年事業分増額) ・恵庭すずらん踊り保存会事業費補助金 340,000円 (周年事業分増額) ・恵庭岳太鼓保存会事業費補助金 100,000円	990	
継続	文化・芸術共催事業	通年	市民会館大ホール		・村元絵美 Classic Tourism Vol. 2 (5月21日) ・邦楽フェスティバル (9月10日) ・千歳フィルハーモニーオーケストラ第44回公演 (恵庭公演) ～花と川の街・恵庭～ (10月1日) ・第65回北海道・東北ブロック民俗芸能大会 (10/29) ・第28回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト予選第14回 北海道大会 (12月16日)	0	市の役割 ・会場の減免 ・広報活動支援
			夢創館		・Ensemble Spinel 第3回コンサート～木管3重奏の響き～ (7月9日) ・「遠い約束～桜の幻影～」空間アート×語り劇 (8月9日～12日) ・音楽劇 時空ヲ旅スル音楽会 (9月17日～18日)		
継続	えにわ芸術文化宅配事業	通年	展示箇所 47箇所 (工場・金融機関・事業所 ・飲食店等)	展示作品数 167点	まちの有効空間に地元作家の芸術作品を展示してもらうことで、 市民に芸術作品の鑑賞機会を提供する。事業は、文化協会傘下団体 で組織した「えにわアート・バンク」に委託。	150	
継続	えにアート・ギャラリー	通年	花の拠点(はなふる) プレスボ恵み野	はなふる展示 1件 ・色えんびつ画花あけびの会 (令和5年 7月11～24日) ・恵庭南高校美術部展 (令和6年 3月23～29日)	恵庭市内で文化芸術活動に励んでいる方の発表の場並びに、 市民が文化芸術作品に触れる場を増やすことを目的に、花の拠点 はなふるの空き時間に一部スペースを借り上げ、発表場所として 提供している。	0	
継続	藤枝市芸術祭	2月23～ 25日	静岡県藤枝市生涯学習センター	恵庭市文化協会加盟団体 (計29名)	友好都市である静岡県藤枝市との隔年で行っている事業。 令和5年度は藤枝市にて開催。	4	※梱包作業で使用した会場 の会場使用料、消耗品費

継続	恵庭市の文化を語る会	第1回 3月21日 第2回 3月25日	夢創館		市民との協働による文化芸術活動を推進するため、市内で活動されている方を中心に参加いただき、今後の課題などについて意見交換を行った。 本年度は、恵庭市民の文化や芸術に対する意識についてどのように感じているかについて、有識者4名に懇談していただく会を2回開催。 ■第1回懇談者：村元 絵美氏（ピアニスト） 籾 宏行氏（恵庭北高教諭，書道部顧問） 鶴田 力氏（夢創館館長） Dr.ツクール（岩崎秀紀）氏（アート工作教室講師） ※ファシリテーター：水野 みどり 氏（生涯学習推進協議会委員他） ※助言者：石井 美季 氏（ピアノ講師） ■第2回懇談者：瀧本 志保 氏（バイオリニスト） 細川 知之 氏（恵庭南高教諭，吹奏楽部顧問） 松崎 正夫 氏（恵庭混声合唱団） 武藤 光一 氏（恵庭美術協会） ※ファシリテーター：水野 みどり 氏（生涯学習推進協議会委員他） ※助言者：小磯 修二 氏（北海道文教大学地域創造研究センター長） 大塚ひろみ 氏（恵庭市公民館運営審議会委員）	5	※会場使用料
----	------------	----------------------------------	-----	--	---	---	--------

	夢創館自主文化事業					0	<主催>
継続	* 手作り雑貨マーケット in夢創館 (第6回)	7月16日	夢創館	233名 (前年度 170名)	市内及び近郊の作家による、手作り雑貨のマーケットを例年開催。コロナ禍以降、集客も回復傾向にあり、今後も継続していく意向である。		夢創館指定管理者 〈島松夢創館倶楽部〉
継続	* 手作り雑貨マーケット in夢創館 (第7回)	12月9日	夢創館	213名 (前年度 170名)			
継続	夢創館連携事業 * いきいき100歳体操	第1・3 月曜日 10時～	夢創館	21回延べ445名 (継続中) ※2月5日現在 (前年度 22回延べ287名)	いきいき百歳体操は座ったままできる介護予防の体操であり、公民館や島松支所で行っていた100歳体操を夢創館でも今年度より開催した。居場所としての機能もあり、人の流れにもつながった。	0	<連携> 夢サロン
新規	文化庁「令和4年度第二次補正予算事業 地域における子どもたちの伝統文化の体験事業 ～邦楽をみて・ふれて・楽しむ プロジェクト～ 邦楽フェスティバル	9月10日	恵庭市民会館大ホール他	ワークショップ受講者約65名 鑑賞会来場者約170名	一般社団法人長唄東音会が主催となり、三味線・囃子・長唄・落語が体験できる「邦楽フェスティバル」を開催する。 ①各邦楽の体験ワークショップ ・長唄、三味線、囃子、落語 ②邦楽鑑賞会 ・落語、長唄「夜遊楽」、長唄「素囃子」、長唄「連獅子」	0	<主催> 一般社団法人長唄東音会

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	市民講座		社会教育施設等4会場		◎市民に基礎的な知識、技能を身につけていただき、学習を通して学ぶ喜びを味わい、生活に潤いと張りを持ち、講座生相互の触れ合いの中からより豊かな人間性を身につける学習活動を進める。	2,210	
		I 期 4～9月		166名（173名）			
		II 期 10～3月		171名（173名）	講座数：12 1回学習時間：2時間程度、毎月2回、年20回開催		
継続	公民館外国語講座		市民会館		◎外国語の基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る機会とする。		
	* 英会話基礎講座（前期）	5～6月		10名（7名）	小6～中1程度の英会話	138	
	* 英会話基礎講座（後期）	9～10月		11名（7名）	中1～中3程度の英会話		
新規	* 中国語基礎講座	10～11月	えにあす	10名	小・中学校程度の中国語	45	
継続	公民館サークル	4～3月	社会教育施設等9会場	303名(367名) * 31サークル	◎市民講座、各種講座での学習成果を継続しながら教養を高め学ぶ喜びを味わい、生活に潤いを持ち、サークル相互の輪を作り豊かな人間性を身に付ける学習活動を進める。	0	自主運営事業
新規	日曜趣味講座				◎平日の講座に参加できない市民に参加の機会をつくり、関心の高い「食」関連の事業を開催し、気軽に受講する。		
	* 「コーヒー焙煎講座」	9月24日		17名	講師によるコーヒーに関わる講話及び参加者によるコーヒーの生豆を焙煎・ドリップを行った。	21	
継続	* そば打ち基礎講座	10月15日	公民館	大人12名、小学生2名（6名）	講師が資料をもとに、活動の手順や講師の配置について説明し、その後、講師の指導を受けながら参加者が手打ちそばの打ち方を学んだ。	27	
新規	* ボールペン字と筆ペン字講座	1月31日		16名	日常生活で役立つボールペン字・筆ペン字の書き方の基本を学ぶ。	85	
継続	親子ふれあい教室			小学生と親	◎子どもたちに創作や遊びの技術を学ばせるとともに、作業を通じて親子が触れ合う機会とする。		
	* 「親子でクッキング」	6月25日		保護者11名、子ども11名	本場ニュージーランドのクッキー作り、講師が家庭で作った「クッキーのお家」の映像を紹介した。	16	
	* クリスマスケーキづくり	12月9日	公民館	保護者10名、小学生10名、中学生1名	講師のレシピを基にスポンジ作り、生クリーム作り、デコレーションの仕方を学んだ。	29	

継続	公民館IT講習事業			一般市民			
	* パソコン基礎講座（前期）	5～6月	公民館	ワード編 13名、エクセル編10名（19名）	自前のパソコンで、Word・Excelを使った簡単な文書作成や表計算の仕方などを学ぶ機会とする。	56	
	* パソコン基礎講座（後期）	9～10月		ワード編9名、エクセル編8名（16名）		56	
新規	* 大学生によるスマホ教室	8月27日	えにあす公民館	7名	スマートフォンの操作がよくわからない人を対象に使い方教室を大学生が行う。	27	
		3月27日		20名		34	
継続	公民館文化事業			一般市民	◎気軽に良質なピアノ演奏を聴くことにより、音楽に対する興味・関心を高め、豊かな情操を養うと共に芸術文化の振興を図り、ファミリーのふれあいや絆を深める。		
	* 「みんなで楽しむピアノコンサート」	5月20日	公民館	98名(85名)	講師が曲や作曲家の紹介等を易しく説明しながらクラシック曲への興味を喚起してた。絵本「14ひきのかぼちゃ」の読み聞かせではピアノ演奏を織り交ぜ、参加者は楽しそうに見入っていた。	47	
	* クリスマスピアノコンサート	12月23日	市民会館	148名（120名）	講師が参加者の聞き馴染みのあるクラシック音楽を選曲し、曲や作曲家に関わるエピソード等を易しく説明しながら、曲への興味を喚起していた。また、読み聞かせは大変聞き取りやすい語り声で好評だった。	75	
	くらしに役立つ健康講座 * 「楽しく学ぶ！認知症予防講座」	8月22日	市民会館	10名（19名）	◎認知症の知識を深め、健康的によりよい生活を送るための方策を学ぶ。	4	
		8月29日	公民館	22名（15名）		4	
継続	文化交流講座			一般市民	◎日本文化と外国文化の違いについて考え、世界的視野と国際感覚の大切さを学ぶ。		
	* ウクライナのことを知ろう	12月7日	夢創館	24名（32名）	恵庭市在住のゴヴォロヴスキー・セルヒー氏にウクライナの歴史や生活・文化現状の様子等、貴重な話を聞くことが出来た。	19	
新規	その他事業			市内小学生	◎軽スポーツを通して、親子・子ども達同士がなかよく触れ合う機会とする。また、障害者スポーツに対する理解を深める。		
	* 「みんなで楽しむスポーツ講座」	8月5日 1月12日	公民館	22名 30名	長期休みにボッチャ・カラーリング・軽スポーツ等の体験会を開催した。	4 4	
継続	公民館分館活動（島松分館）				◎公民館分館活動を通して地域交流の活性化を図ると共に、分館活動の支援に努める。		
	* 島松公民館まつり	11月2日 ～3日	公民館	展示（来場者数）408名 （出展者数）8団体 71名 舞台（来場者数）754名 （出演者数）16団体 138名	公民館まつりを通じて幼児から高齢者まで多くの地域住民が参加し、地域の活性化を図り交流を深める。（主な事業：展示発表、舞台発表、バザー等）	122	

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	図書貸出	通年	緑のカフェ プレイスペース2 会議室、クラークルーム	136件（前年度106件）	〈経過〉 ・平成30年12月から平成31年3月まで試行により図書貸出を実施（H30：48件） ・地域の方々の利用が一定件数あること等から、令和元年4月より（当分の間）貸出を継続実施（R元：85件） ・令和2年度貸出、10月より貸出冊数を2冊から3冊に（R2：40件） ・令和3年度貸出（R3:44件） ・令和4年度貸出（R4:106件） かしのもり文庫への寄付申込（受付）状況（開設後：個人） H28：5件、H29：17件、H30：16件、R元：8件、R2：8件、R3：14件、R4：10件+845冊、R5：2件62冊（2月8日現在）	0	
継続	展示・情報提供	通年	エントランスホール 掲示版（廊下） 展示コーナー	来館者	・かしのもりフォトコーナー エントランスホールに、かしのもりで実施されたイベント、行事等の写真を展示した。 ・かしのもり情報コーナー 廊下の壁に設置されている掲示版を活用し、市等及び地域関係団体等から寄せられる啓発ポスターやイベント・行事参加案内等ポスターを掲示し、地域における情報発信の役割を担っている（通常、30～40件程度の掲示が可能）。 ・かしのもり展示コーナー 展示コーナーは、緑のカフェ読書コーナー向いの秋の庭側壁部分とし、照明・ピクチャーレールを設けている。 ・通年展示として、「えにわ芸術文化宅配事業」を活用し、6作品が展示されており、毎年11月に一部作品の入れ替え。	0	

継続	{四季に応じたイベントの開催}						
	* 五月人形展示	4月16日 ～5月7日	プレイスペース1 会議室 クラークルーム	来館者	五月人形を展示し楽しんでもらった。	0	
	* ひな人形展示	2月11日 ～3月3日	クラークルーム	来館者	ひな人形を展示して楽しんでもらった。	0	
	* 桜の開花鑑賞	4月28日 ～5月7日	春の庭	来館者	桜の開花時期（4月下旬から5月上旬）にあわせて、「春の庭」を開放し自由に観ていただいたり、夜間ライトアップを実施。	0	
	* 緑のカフェ特別メニュー		クラークルーム 緑のカフェ	来館者 80名	飲み物と団子のセットを提供し、春の庭の椅子テーブルを利用可能とした。	0	
	* 抹茶体験		プレイスペース1	来館者 111名	公民館サークルの協力により、「抹茶体験(有料)」を実施。	5	
	* セタイイベント	8月2日	クラークルーム 春の庭 エントランスホール	主に子どもひろばに参加する 子どもたち 60名	・子どもひろばに参加する子どもたちが手作りした短冊や七夕飾りでクラークルーム内を装飾。 ・水鉄砲を使った射撃ゲーム、シャボン玉遊び、ヨーヨー釣り、輪投げ等を実施。	10	
継続	初心者スマートフォン 使い方教室	6月26日	会議室	参加申込者 18名	これからスマートフォンを始める人、スマートフォンの使い方がよくわからない人を対象に使い方教室を実施。	0	
継続	親子たいいく	9月25日	スポーツ練習場	12組 託児3名	走れるようになった就学前のお子様と保護者が楽しく体を動かして、子どもの発達を図った。	0	
新規	かしわのもりフェスティバル	10月29日	全館開放	市民 大人207人 小人166人 計367人	市民との交流、コミュニケーションを図るため、全館を開放し、利用団体やボランティア団体の発表の場を提供、子どもひろばでハロウィンイベント実施、販売コーナーや喫茶コーナー等を設け楽しい一日を過ごして頂いた。	50	
新規	バードテーブル設置事業	11月1日 ～3月31日	外部南側犬走り 2台	来館者	バードテーブルを2台設置し、野鳥を眺め楽しんでもらう。	0	
継続	シーニックナイト	2月3日 ～2月7日	施設周辺	来館者 付近歩行者	スノーキャンドル、アイスクャンドルを制作し、えにわシーニックナイトに協力。	20	

【読書推進課】

領域：資料収集・提供

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	資料の収集・提供 雑誌スポンサー制度	通年	全館	18件/33誌・企業、個人 (前年度 18件/31誌)	企業や店舗・個人が社会貢献の一環として雑誌を提供する制度。 提供雑誌の「最新号」のカバーと雑誌架にスポンサー名を表示、 カバーの裏面に会社概要などを周知。		指定管理者実施事業
継続	情報提供サービスの推進 ＊インターネット及び 各種データベースの利活用	通年		通年	インターネットや各種データベースの活用促進を図り、利用者の 嗜好に応じた新着図書情報や過去の貸出記録が管理できる機能を 提供する。		指定管理者実施事業
	＊新着図書情報データ 配信サービスの実施	通年		通年			
	＊読書履歴管理機能の活用	通年		通年			
継続	電子図書館	通年		2,809冊（ 716冊）	インターネットを通じた電子書籍の貸出。		
継続	団体貸出	通年	全館	3,631冊（4,261冊）	学童クラブ・学校・団体などへの貸出。		
継続	図書宅配サービス	通年	本館	10名42冊・高齢者等 (前年度 3名11冊)	高齢者など図書館来館が困難な市民に対し、図書の貸出や返却を 有償で実施する。		
継続	ブックステーション	通年	黄金ふれあいセンター 生涯学習施設かしわのもり	貸出 1,881冊（1,743冊） 貸出 1,056冊（1,300冊）	黄金ブックステーション及びかしわのもりブックステーションの 運営。		

領域：児童サービス

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	おはなし広場	通年	本館 恵庭分館 島松分館	62回 400名・乳児から児童 (前年度 373名) 21回 117名・乳児から児童 (前年度126名) 24回 106名・乳児から児童 (前年度 151名)	児童奉仕活動の基本的な事業として、絵本の読み聞かせ、紙芝居等を実演。市内の読み聞かせサークルの協力を得て実施している。午前の部は乳幼児、午後の部は幼児～小学校低学年が対象。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
継続	本館夏のスペシャルおはなし会	7月30日	本館	15名 (前年度 22名)	「読み聞かせの会「知恵袋」」出演の夏休み行事。		指定管理者実施事業
継続	島松分館夏のスペシャルおはなし会	8月5日	島松分館	16名 (前年度 12名)	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
継続	島松分館冬のスペシャルおはなし会	12月17日	島松分館	16名 (前年度 10名)	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
継続	クリスマス幻燈会	12月9日	本館	34名 (前年度未開催)	読み聞かせボランティア「ばたぼん」によるイベント。		指定管理者実施事業
継続	BALLOONおはなし会	通年	本館	10回 116名・小中学生から一般 (前年度 118名)	洋書絵本の原語による読み聞かせ。児童が異文化に触れ、国際感覚を養うことを目的とする。読み手は図書館員と市教委ALT。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
継続	家読（うちどく）推進事業 ・うちどくノート、ブック リストの作成・配布	通年	全館	通年	家庭で同じ本を読み、感想を話し合うことでコミュニケーションを深める「家読(うちどく)」の普及。「うちどくノート」「この本読んだ?ブックリスト2023」の作成・配布。		読書推進事業・学校図書館 活動推進事業及び指定管理 業務
継続	子ども読書の日記念事業 * 展示「この本読んだ? 2023」	4月8日 ～5月7日	全館	幼児から中学生	平成13年12月制定「子ども読書活動の推進に関する法律」で定められた「子ども読書の日」を広く周知。		指定管理者実施事業
	* 親子のためのバベット シアター	5月7日	本館	60名（前年度47名）			
	* こども映画会	4月30日	本館	20名（前年度50名）			
継続	・ハッピーハロウィン 仮装おはなし会	10月21日	本館	18名（前年度16名）	ハロウィンにちなんだおはなし会。		
	・ぬいぐるみおとまり会	2月24日	本館	11名（前年度23名）	子どものぬいぐるみを預かり、図書館内での活躍を写真集にしてプレゼントするイベント。		
継続	工作ワークショップ * ハッピーマンデーおたのしみ会	7月17日 9月18日 2月12日	本館	45名 (前年度 45名)	祝日開館周知を目的とした行事。		指定管理者実施事業

継続	*ゲリラ工作会	2月4日	本館	11名 (前年度 365名)	予告なしで実施する工作会。		指定管理者実施事業
新規	*大人のためのハンドメイド講座	11月25日	本館	5名	ドライフラワーでポプリを作成。		
継続	えほんのせかいがひろがる！ ニコニコ☆さつえい会	9月13日 2月11日	本館	41名 (前年度 3回 69名)	1歳未満の乳児対象とした絵本の世界がテーマの撮影会。		指定管理者実施事業
継続	その他実施行事 * 恐怖の図書館 ～夜の謎解き図書館～	8月13日	本館	39名 (前年度 24名)	閉館後の図書館での謎解きゲーム等のイベント。		指定管理者実施事業
新規	* 図書館なぞ解きイベント ～ひゃっか王からの挑戦状～	4月1,2日	本館	計26名	出版者が配付しているキットを使用したイベント。		
継続	* 人形劇団クラルテ公演	9月9日	本館	56名 (前年度 54名)	関西の劇団を招いての人形劇公演。		
	* としょかんお年玉抽選会	1月7日	全館	205名 (前年度 199名)	雑誌の付録等を景品とした抽選会を開催。		
	* お正月を遊ぼう！	1月8日 1月9日 1月13・14日	本館 恵庭分館 島松分館	37名 (前年度 97名)	すごろくや昔遊び等を楽しむイベント。		
新規	* ボードゲームであそぼう	3月30日	全館	110名	ボードゲームを楽しむイベント。		

領域：文化集会事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
新規	作家講演会 ＊川崎秋子さん講演会 「創作について」	7月15日	本館	40名	道内在住作家による講演会。		指定管理者実施事業
	＊講演会 「野生動物と付き合うには」	8月27日	本館	9名	元知床博物館館長・村上隆広氏による講演会。		
	＊講演会 直木賞作家 今村翔吾氏	10月14日	本館	39名	直木賞作家による講演会。		
継続	上映会の開催 ＊大人向け映画会	毎週 水曜日	本館	50回 887名・一般 (前年度 511名)	上映許諾済又は著作権が発生していない映画を上映。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
	＊子ども向け映画会	第2・4 土曜日	本館	21回 100名・児童 (前年度139名)			
新規	＊午前10時の映画会	6月24日 11月18日	本館	一般 25名	「幕末太陽傳」「コーダ あいのうた」を上映。		指定管理者実施事業
継続	＊終戦の日平和祈念上映会	8月12日	本館	一般 9名 (前年度 12名)	戦争を題材とした作品を上映。		
継続	図書館活用講座 ＊図書館を知ろう	9月30日 ～10月26	島松分館	自由参加	図書館の利用方法とスタッフお勧めの本を展示。		指定管理者実施事業
継続	大人のためのお話会	4月12日 6月7日 9月13日 11月8日	本館	計29名(前年度 29名)	読み聞かせサークル「青空のたね」による大人対象の事業。		指定管理者実施事業
	＊大人のための朗読会	10月29日	本館	48名(前年度 29名)	朗読の会「北こぶし」による大人対象の事業。		
継続	その他実施行事（展示） ・石膏デッサン2 B会作品展 4月4日～16日	通年	本館ギャラリー	一般	市内で文化活動が続けている個人、団体の発表の場。		指定管理者実施事業
	・えのぐ箱小品展 4月19～30日						
	・山本紘正絵画作品展 5月2～14日						
	・陽の会水彩画展 5月16～28日						
	・フォトクラブ写真展示会 5月30日～6月11日						

	・野鳥写真「カワセミ物語Ⅱ」 7月1～14日 ・宇宙アート 7月16～29日 ・原爆パネル展 8月1～13日 ・花とも写真展 8月24～9月5日 ・島松絵画同好会油絵作品展 9月9～22日 ・陽の会水彩画展 9月23～30日 ・絵本原画展「はるふぶき」 10月13日～26日 ・ヤッフオート写真展 11月1～8日 ・広島の高校生による絵画 11月10～15日 ・写真アート 11月16～29日 ・恵庭美術協会小作品展 12月5日～10日 ・恵庭書道連盟書初め展 1月16～21日 ・本のショーウィンドー 2月6～18日 ・あべ弘士巡回パネル展 2月20日～28日 ・野鳥写真「めぐり逢う鳥たち」 3月5～17日 ・切り絵 3月19日～31日					
新規	・夏休み水彩画教室	8月5日	本館	一般 20名	市内在住の画家・山本紘正氏を講師として迎えた事業。	
継続	・全館リレー特集展示 「本が泣いています」	6月1日 ～29日 11月1日 ～30日	島松分館 恵庭分館	自由観覧	汚れ、傷み、落書き等で貸出ができなくなった本の展示。	

領域：障がい者等サービス

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	障がい者サービス * 図書の音訳	通年	本館	0件・障がい者 (前年度 0件)	恵庭市朗読赤十字奉仕団による図書の音訳。		指定管理者実施事業
	* 郵送貸出	通年	本館	0名・障がい者 (前年度 0名)	視力に障がいを持つ方への録音図書や点訳図書の郵送貸出。		
	* 対面朗読サービス	第2・4 水曜日	本館	0件・障がい者 (前年度 0件)	恵庭市朗読赤十字奉仕団の協力により、視覚障がい者への対面朗読を実施。		
	* サピエ図書館	通年	本館	1名 10冊・障がい者 (前年度 1名 19冊)	視力に障がいをお持ちの方へ、サピエ(日本点字図書館のシステム)が持つデジータ等のダウンロードと提供を行なう。		

領域：図書館広報事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	図書館活動の P R * 図書館だより	毎月		毎月	図書館活動の P R 紙の発行。		指定管理者実施事業
	* ホームページ・Facebook	通年		通年	図書館の行催事やお知らせ、図書館活動を掲載。		
	* 図書館要覧の作成	5月		5月	図書館の各種利用状況をまとめた年報を作成。		

領域：学校へのサービス

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	小中学校への支援 * 総合学習への支援	通年		0件 0名 (前年度 0名)	総合学習、調べ学習のための図書館団体利用の受入。		指定管理者実施事業
	* 職業体験の受入 ・実習生受入	通年		2名 (前年度 0名)	大学の図書館司書課程を履修している学生の実習受入。		
	・体験学習	通年		3件 25名 (前年度 0名)	図書館司書業務の体験学習の受入。		
	・団体利用受入	通年		854名 (前年度 282名)	幼稚園、小学校等の見学など団体利用の受入。		
	* 団体貸出 ・学校への総貸出	通年		8,913冊・小中学生 (前年度 8,872冊)	学級文庫・児童生徒教職員への貸出・学校図書館での特集コーナー等、公共図書館から各小中学校へ貸出を行った冊数の総数。		指定管理者実施事業 学校配本システムを活用
	・学級文庫	通年		8,253冊・小中学生 (前年度 7,950冊)	前項のうち、各小中学校の学級内において利用する「学級文庫」への貸出分。		
継続	高校ブックライン事業	通年	恵庭北高校 恵庭南高校	貸出 3冊 (38冊) 貸出 84冊 (43冊)	市立図書館の予約図書を高等学校図書館で手軽に受け取ることのできる事業。		

領域：協働連携事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
新規	全市的読み聞かせ活動の推進 * 幼稚園や保育園での 読書活動推進 ・ 幼稚園・保育園 巡回読み聞かせ	通年	市内幼稚園等	4,349名	図書館で読み聞かせを行っているボランティアが市内幼稚園等を訪問する。		指定管理者実施事業
継続	恵庭まちじゅう図書館 事業の推進	通年		42館 (前年度42館)	人とまちを育む読書条例制定を機に開始した事業。市内の様々なカフェやオフィスなどに店主や社員などのお気に入りの本を展示し、訪れた人と本の会話を楽しむ読書コミュニティ事業。		
継続	ブックスタート事業 * ブックスタート	毎月1回	えにあす	9・10カ月児と親 12回 403部 (前年度 451部)	乳児期における利用サービスの取り組みとして、9・10ヶ月児健診に参加した絵本・絵本ガイドなどが入った「ブックスタートパック」をプレゼントする。		指定管理者実施事業
	* ブックスタートプラス	毎月1回	えにあす	1歳6カ月児と親 12回 452部 (前年度 476部)	家庭での読書環境の継続と充実を図るため、1歳6ヶ月児健診に参加した親子に絵本1冊と絵本ガイドをプレゼントする。		
継続	図書館開館24時	9月2日	本館	236名（前年度 268名）	市民との協働で実行委員会を組織。図書館を深夜まで開館し、音楽会などの催しを実施。		
継続	図書館まつり	10月14日	本館	自由参加	ステージ等、様々な行事を実施。昨年度より指定管理者主催。		
継続	本のリサイクル市	5月28日 10月1日	本館	自由参加	市民から提供のあった不要本の再活用を目的に開催。		
継続	図書館に住んでみるツアー	9月23・24日	本館	6名（前年度 16名）	市民との協働で実行委員会を組織し、泊まりこみで夜の図書館を体感する事業。		
継続	司書の派遣	通年		5名（前年度 1名）	事例報告や講習会講師等。		

領域：学校図書館事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	学校図書館活動の推進						指定管理者実施事業
	* 学校における読書活動	通年		全13校	「ブックリスト」の配付。		
	* 図書の共有化推進	通年		514冊 (前年度683冊)	児童生徒の求めにより、公共図書館の図書を学校図書館を通して貸出を行う。		
	* 司書教諭・学校司書の 研修会開催	6月20日 12月14日	本館	46名	司書教諭と学校司書の連携、学校図書館活動の理解を深める。		
	* 朝読・家読の推進	通年		全13校	「うちどくノート」の配付。		
	* 調べる学習コンクール ・開催・作品募集	7月18日 ~9月19日		298名・292作品 (前年度 355名・348作品)	図書館を利用した調べ学習の推進。		
	・調べる学習講習会	7月29日	本館	1名・小学生等(前年度6名)	「小中学生調べる学習コンクール」に向け、小学生を対象に調べ学習のポイントや調べ方のコツを説明。		
	* 学校図書館活動推進協議会	通年		通年	学校間のネットワーク化と学校図書館活動の充実・支援を図る。		
	* 物語定期便	通年		計13セット（各30冊）を学校間巡回	物語や科学を楽しむための本を各小中学校に定期的巡回を行う。		

【郷土資料館】

領域：郷土資料館

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
新規	コレクション展「昭和のおもちゃ」	4月29日 ～5月28日 (25日間)	郷土資料館	968名(小中学生 205名)	5月5日の子どもの日にちなみ、郷土資料館で収蔵している玩具資料の内、昭和期のもの約100点を紹介。	0	
継続	カリンバ土曜講座①	5月13日	郷土資料館	21名 (前年度20名)	演題「西島松5遺跡の擦文墓について」 講師 恵庭市郷土資料館 学芸員 長町章弘	0	
継続	アイヌ文化学習見学会事業	6月17日	旭川市等	35名(小中学生1名) (前年度39名)	市民を公募し、旭川市と鷹栖町の博物館等で現地学芸員の解説を受けて、アイヌ文化を学ぶバスツアーを実施。	229	
新規	古里チョイ散歩	6月24日	市道恵庭線	4名(小中学生 0名)	郷土資料館ボランティアの会共催事業。市道恵庭線沿いの歴史的にゆかりのある場所をボランティアが説明しながら散策。	0	
継続	アイヌ文化マスター育成事業	①7月2日 ②8月5・6日 ③9月3日 ④10月21・22日 ⑤11月12日 ⑥12月10日 ⑦1月14日 ⑧2月4日	郷土資料館 旭川市等 郷土資料館 大阪府等 郷土資料館 白老町 郷土資料館 郷土資料館	毎回6名(中学生 6名)	市内に在住する中高生のうち公募した6名が、計8回の講座や体験でアイヌ文化を学ぶ。	952	
継続	カリンバ土曜講座②	7月8日	郷土資料館	21名 (前年度17名)	演題「演習場のはじまりについて」 講師 恵庭市郷土資料館 学芸員 大林 千春	0	
継続	「第10回 カリンバまつり」	7月22日	郷土資料館	23名(小中学生18名) (前年度 83名)	市民を公募し、資料館学芸員を講師として勾玉作りと縄文土器作りを実施。	10	
新規	企画展「明珍鉄工所」	7月22日 ～8月27日 (30日間)	郷土資料館	577名(小中学生 130名)	令和4年6月、恵庭の産業と生活を支え、125年の歴史に幕を降ろした明珍鉄工所より寄贈を受けた資料を中心に紹介。	0	
継続	常設展示室入室替展 「戦争資料展」	8月1日 ～8月24日 (21日間)	郷土資料館	372名(小中学生68名) (前年度 811名)	常設展示室「昭和コーナー」を一時撤収し、市民より寄贈を受けた戦争関連資料約70点を展示。	0	
継続	漁川の生きもの観察会	8月5日	漁川あかね橋上流むつみ公園駐車場付近	6名(小中学生4名) (前年度5名)	漁川に生息する魚や水生昆虫をたも網で捕獲し、観察を行う。	0	
新規	粘土で土鈴づくり体験	8月19日	郷土資料館	15名(小中学生6名)	郷土資料館ボランティアの会共催事業。大昔の遺跡から発見されることもある土製の鈴づくりを体験。	0	

継続	カリンバ土曜講座③	9月2日	郷土資料館	15名 (前年度13名)	演題「木製品と保存科学」 講師 恵庭市郷土資料館 学芸員 杉浦正和	0	
新規	黒曜石でストラップづくり体験	9月16日	郷土資料館	23名(小中学生15名)	郷土資料館ボランティアの会共催事業。大昔の石器の材料として知られる黒曜石の破片にガラス工芸用のペンで図柄を描いて作製。	0	
継続	企画展「特別公開2023 カリンバ遺跡重要文化財 漆塗り装身具」	9月16日 ～18日	埋蔵文化財整理室	91名(小中学生3名) (前年度 0名)	年に1度、カリンバ遺跡の大型合葬墓3基から出土した漆塗り装身具の実物を公開・展示する。同時に市内遺跡ミニ展示「恵庭の遺跡から出土した縄文時代の石棒」も行った。	0	
継続	第10回カリンバ講演会	9月30日	市民会館大会議室	35名 (前年度48名)	演題「黒曜石から読み解く人類史」 講師 札幌学院大学 特任講師 大塚 宜明氏	19	
新規	収蔵資料展「ミシン」	10月14日 ～12月10日	郷土資料館	837名(小中学生216名)	収蔵資料の中から、明治～昭和にかけて使用された「手回し」、「足踏み」、「電動」の各ミシン20点を紹介。	0	
新規	第1回アイヌ文化講演会	11月12日	市民会館大会議室	59名	演題「松浦武一郎が記した幕末の恵庭」 講師 文化庁 調査官 内田 祐一氏	6	
継続	令和5年新収蔵資料展	1月4日～25日	郷土資料館	208名(小中学生33名) (前年度174名)	令和5年中に新たに寄贈を受けた資料 29件 194点の内、60点を紹介。	0	
新規	郷土資料館展示解説	1～3月 (全12)	郷土資料館	86名	学芸員による展示解説	0	
継続	ひな人形展	2月3日 ～3月10	郷土資料館	1,030名(小中学生478名) (前年度1,053名)	これまでに寄贈を受けた明治～平成までの9組のひな人形を展示。	0	
新規	緋世創作人形展	3月16日 ～31日	郷土資料館	436名(小中学生70名)	人形作家 緋世(ひよ)さん(R4年まで市内在住)作 昭和の子どもたちの生活を表現した作品を紹介。	0	
継続	ふるさと教育宅配事業	6月 ～10月	市内小学校	市内小学校全児童	郷土資料館収蔵資料の内、チョウの標本を市内の8小学校に貸出し、巡回して展示を行う。	25	

令和5年度 恵庭市教育委員会 社会教育事業報告

令和6年4月作成版

編集 恵庭市教育委員会

教育部社会教育課

〒061-1498 恵庭市新町10番地

Tel 0123-33-3131 内線1711、1712

E-mail : syakaikyouiku@city.eniwa.hokkaido.jp
